

令和5年度 第1回長野市観光振興審議会 会議録

日 時 令和5年10月19日(木) 午前10時から午前11時30分まで
場 所 市役所会議室 201 (第二庁舎 10階)
出席者 委員 (14人中13人出席)
事務局 10人
観光振興計画進捗管理SCOP 1人

1 開 会

2 商工観光部長挨拶

今年度に入り、ようやく祭りやイベントに行動規制がなくなり、ようやく街中にもコロナ禍前の賑やかさが戻ってきた。

現在本市は、善光寺や戸隠、松代など豊富な観光資源を生かした観光誘客事業に取り組んでおり、善光寺界隈では表参道だけでなく裏路地の魅力発信、また戸隠では四季折々の大自然、松代では真田十万石の文化財を活用し、そこでしか体験できないメニューを組み込んだツアーの造成などに取り組んでいる。

また、9月27日から長野駅を中心に、Eバイクのレンタルを始めた。市内の回遊性の向上、滞在時間の延長に結びつけることで、観光消費の拡大に努めたいと考えている。

またインバウンドでは、大都市圏からのアクセスの良さを生かし、多様な魅力を有する市町村と広域観光連携を進めている他、トップセールスによる積極的な外国人観光客の誘客に取り組んでいる。つい先日も荻原市長がタイ、中国を訪問し、長野市の観光PRの実施を通じ手応えを感じているところである。

市としても、コロナ後の観光需要の高まりを的確に捉え、インバウンドを含め、観光誘客に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

この審議会では令和4年度長野市観光振興計画の指標達成状況、そして最近の観光政策の取り組み状況について、事務局から説明申し上げる。本市の観光政策が進められるよう、委員の皆様には、それぞれの専門の立場から、忌憚のないご意見を頂戴したい。本日はどうぞよろしく願いいたします。

3 会長挨拶

新型コロナウイルス感染症による行動規制がなくなったものの、物価の高騰、人手不足など、観光産業を取り巻く状況は非常に厳しいものと言わざるをえない。

国内観光需要の高まり、インバウンドの急速な回復、中国からの本格的訪日の再開など、この機を逃すことなく、観光産業のさらなる発展につなげていくことが重要である。

本日の審議会では、長野市観光振興計画の成果指標の評価・検証を行い、その結果を踏ま

えて、次年度の年次計画の重点目標や、事業の見直しを行う。その後、令和4年度長野市観光振興計画の指標達成状況、観光施策の最近の取り組み状況について審議することとなる。

令和4年度は4月から6月に善光寺御開帳の開催、10月にはインバウンドの規制緩和、秋からは、全国旅行支援が実施されるなど、ようやく各地で観光による賑わいを取り戻した最初の年である。

委員の方々には、それぞれ専門の立場から、忌憚のないご意見をいただきたい。委員の皆様の協力のもと、本市が選ばれる観光地となり、観光を通じて地域の活性化が図られるよう努めたい。よろしくお願いいたします。

4 事務局職員の紹介

本年度4月の人事異動により新たに事務局となった職員からの自己紹介。

5 議事（議長：笠原会長）

- (1) 令和4年度 長野市観光振興計画の指標達成状況について
- (2) 観光施策の最近の取り組み状況について

質疑応答、意見など

A委員：昨年度1年間通して新幹線利用者が増えていることに驚いた。我々の体感は、バスが減り、乗用車が増えた印象。

また、満足度「58.8%」は今までで一番高いと言われたが、どこと比較と考えればよいのか。善光寺の場合、例えば日光と比較することが多いが、長野市と似たような市と比較し、長野市の満足度が実は高いとわかると、もっとみんなやる気が出る。比較対象など教えて欲しい。

事務局：日光や成田山、長野市と同じ門前町のエリアで、資料があれば今後回答したい。寺社仏閣だけでなく、山の多いエリアなど広く調べてみたい。

満足度の問題だが、あくまでもコロナ明け初めての年でもあり、旅行に飢えていた点や旅行ができて良かったという意識が高く、高評価になった部分もあると考える。いずれにしろ満足度については、コロナ過以降の状況としてデータ集約なども含め今後の課題とし、注視して施策を行いたい。

B委員：昨年1年間、北陸新幹線の乗車率はコロナ前2018年と比較すると8割までの回復、それが今年に入り9割まで増えている。国内、海外からも含め、多くの方が新幹線を利用している良い傾向と考えている。

若い30代以下の方がかなり長野市の観光に興味があり、実際に訪れている。そこをさらに拡大していくべきである。コロナ禍を経て、世の中の変化の一つはSNSやWEB媒体から観光情報を得る手段がより顕著になっていることだ。

まず旅行に行きたいというニーズがあり、その際に善光寺・戸隠・松代と長野市に

行きたくなる情報の届け方が重要である。

C委員：5月の連休中、戸隠の蕎麦目当てに出掛けたが、5キロの渋滞で蕎麦を食べられない状況が連日続き、それが「そば難民」とニュースで取り上げられた。それだけ注目されているということでもいいのか、車の乗り入れ制限や入場規制が正解なのか、満足度をどこに置くのかが課題となっている。

先日「戸隠秋山リフト」を9日間実施したところ、初日に400人が訪れる大盛況だった。ここでも用意したオリジナルランチボックスが完売し、結果として行き届かなかった。蕎麦だけでなく、蕎麦は食べられなかったけど、これがあると、何かもうひとつくらい案内できればと痛感した。

また、増えてきた若い観光客には「五社巡り」が定着してきた。スピリチュアル系のYouTubeでも願いが叶うというような発信がされている。絶対的な人気は奥社で実際若い人が増えていると感じる。今までと違う視点で観光の分散を考えていきたい。

事務局：「そば難民」という言葉がニュースに出たことは承知している。秋山リフトの盛況は、スキー場の大きな駐車場完備が要因でもある。この駐車場をもっと有効活用し、スムーズに車が入って行ける状況に期待したい。

D委員：今年の4月から、刈萱山西光寺を借り、英語のできるガイドをインバウンド専門に配置し、善光寺はもちろん途中の神社仏閣や商店を紹介している。刈萱山の境内の入り口に設置した案内看板の効果かガイドを利用する外国の方が大分増えている。

E委員：信州新町は、中山間地で市街地からは離れているが、一つのイベントで全国から人が集まることを実感した。

信州新町化石博物館があることを活かし恐竜のイベント「恐竜あらわる！化石博物館を救え！信州新町恐竜化計画」を9月に開催した。それは地域にあるものを掘り起こし、恐竜や化石の地としての魅力をPRし、ティラノサウルスレースについてSNSで発信したところ、メディアにも注目され大成功した。

今回、興味のあるところへは、全国どこへでも訪れる方が多いこともわかった。

御開帳時は通り道として寄ってもらえたが、とにかく信州新町に実際来て見てもらえたことはありがたかった。来年も開催をと地元から声が出ているし、地域を掘り起こし活動が続けることが重要だと再認識している。

F委員：入り込み客を増やすには、コロナ前と比べ約6割弱に減った団体客をどうするかが鍵となる。キーワードは、リピーター率の上昇とファンづくりである。これはイコールでもあり、この二つは密接で、どう数を増やすかは、コンテンツ開発が非常に大事になる。増えている若年層をリピーター客に繋げること、リピーター率が高い60歳以上の方の観光消費が多いことを忘れてはならない。事前にインターネット等で調べて計画をする方の一方で、現地に来て何をするか決める方もいる訳で、そこは両軸で取り組むべきである。情報発信も重要で、インバウンド向けも含めて色々な発信基地

を考えなければならない。

善光寺の御開帳も期間を1ヶ月間延長することで再訪者が増えた点も踏まえ、今あるイベントの期間を延ばす、旅行業者も長野に対してのキャンペーンをロングスパンで考える必要がある。

また、ファンづくりの一つで「ふるさと納税」を使うのはどうか。モノから体験、投資への流れを取り入れるのも一つの案となる。

G委員：松代を知ってもらうきっかけとして、松代出身の声優新田恵美さんが若い人向けにSNSで松代をPR発信してくれた。地元の杏を使ったおこわに期待して、食事とお土産に力を入れたい。

今長野県の高校生の修学旅行の行先は沖縄が多いと聞く。大本営、平和学習で沖縄からの修学旅行を松代に呼び、お互い交流できればと構想している。

善光寺の次は松代と言ってもらえることを目指したい。

H委員：善光寺門前では、善光寺の次にどこへ行くべきかという問い合わせが多い。公共交通機関で松代へ行くには交通手段が非常に少ない上に案内が難しい。

今回川中島の古戦場にデジタルコンテンツを作る話もあるが、そこまで行く手段がないと諦めるしかない方も多い。「善光寺と川中島と松代」、更に「戸隠と飯綱」広域をめぐるものが可能ならぐるりん号の観光地版的なバスがあればいい。

また「善光寺もんぜん探検隊」のイベントは積極的に商店街を巻き込めば、ちょっとしたサービスも期待できる楽しい催しになると思う。

善光寺周辺も門前の中央通り沿いでは昼前に行列ができるような蕎麦店が多い。一方で権堂辺りまで行くと結構空いている。この穴場情報をうまく案内できるツールで観光客がもっと蕎麦を楽しむことができる取り組みをお願いしたい。

I委員：ファンを増やすには、来訪者をがっかりさせないことが大事になる。観光客は時間通りに旅をしたい。でも戸隠に行くと渋滞があり本当は蕎麦を食べたいが辿り着かない、その後松代へ行く予定だったが時間が足りず、諦めて帰ってしまう、それでは満足度が下がることになる。

いかに満足度を落とさない施策を展開するかが大事だと思う。長野市を訪れる方の多さを我々がもっと認識しなければならない。本当に細かい市場をめがけて来る方が非常に増える中、例えば予約をすると並ばずに済む、そういうきめ細かなツールを検討しないといけない。空いた時間で周辺の町を散策してお金を落としてもらう、そんな仕組みも考えていく時期で、それによって長野市は発展し、消費額も上がっていくのではないかと。

J委員：最近ではグーグルマップを利用される方が非常に多く、リアルに混雑状況など詳細に調べているのを実感している。SNS等を活用し最新の情報発信は必要だと考える。

善光寺の集客力の凄さを改めて感じている。6月は1年を通して商売が一番動かないのが通説だが、去年は八幡屋さんを筆頭に、どこの店も6月が一番繁盛した。そこ

で昨年度の御開帳と同様に、次の度御開帳もぜひ3ヶ月の開催を期待している。

会 長：御開帳時の入込状況は、4月、5月、6月と鰻登りになっている。ただし、4月の20日までは通常並みで変化は無かった。交通機関も6月の利用者が伸びており、商店も6月の売り上げが上昇しているので、開催期間3ヶ月が厳しいなら、始まりを遅くし6月後半にかけての開催を検討して欲しい。

K委員：御開帳時、戸隠、松代への波及効果が限定的だった点について提案がある。

今まで別々の観光地として、それぞれの場所を売ろうとしたが、観光は善光寺・戸隠・松代の3点セットで完結を常識化していくのはどうか。三ヶ所を回らないと長野旅は満足できないと思わせる仕掛けを作ることが大事である。

持論だが長野の旅は神と仏とものふの道である。もののふは当然松代で、神は戸隠、仏は善光寺、この3点セットの場所に行かないと完結しない理由づけが必要で、そのためには、神道、仏教、武士道、この三つの精神の柱に基づき長野を旅すると1回でこれを体験できるという売り方、また松代は近世、善光寺が中世、戸隠は古代になり、一つの旅で歴史的に時代を遡ることができるアピールすれば、この三つの拠点を同時に売り込んでいくことができる。これはインバウンド向けとしても非常に大きな要素になってくるはず。三つの大きな拠点が、一本の観光路線として、相当な力となると同時に、それぞれが活性化できると考えている。

L委員：私は釣りが趣味で、市外から長野市で釣りをと相談を受ける際に食事について聞かれることが多い。釣りをしていると何時から何時でしっかり食事をとることが難しく、携帯食としておにぎりなど持っていくことが多いが、そこでは「おやき」をお勧めしている。信州新町は全国的にもかなり注目の釣りスポットだが、道の駅には朝8時30分から夕方5時過ぎまで営業する美味しい蕎麦屋があると紹介もする。

希望のコンテンツを深掘りして、1日のストーリーを立てる提案があると、より中身のあるものになるのではないか。

会 長：善光寺の御開帳の期間については良い意見が出た。

北海道へスキーに行くツアーは必ず行程の中に1日札幌の夜が入る。白馬、野沢、志賀を長野市から遠いとは外国の方は思っていない。インバウンド向けの取り組みとして、人気の小布施も通過地点で夜長野に戻って泊まってもらえるのが一番いい。どうやったら泊まってくれるかを考えた時、花街から花火大会が発案されたように、夜のイベントがあるといい。善光寺も扉を閉めない。食の充実で夜でも、そこに行けば色々選べて食べることができる。そんな場所を行政が作るか、民間が作るかだが、長野市を起点として各地へ周遊できるコンテンツは魅力的である。

周遊旅行に導くことが集客や経済効果に繋がることを念頭に置きたい。

～ 事務局説明資料の内容のとおり、進めていくことが了承された。～

6 その他

※資料「市所管施設（10箇所）の日帰り利用料金」を配布

事務局：現在、市が主管している温泉施設だが、施設の運営の経費は、利用者に入浴料をいただき、長野市が不足する部分を指定管理料として支出し管理している状況。ただ昨今、燃料費の高騰、或いは人件費、最低賃金の上昇などの社会情勢の変化もあり、将来的には市の財政負担が増えることも懸念される。

また公衆浴場の料金と比較しても若干安い部分も見受けられ、施設の適正な利用料金のあり方からも、見直しの時期に来ていると考えている。

今後は具体的な料金の決定となるが、現況を考慮し、値上げを含め料金改定の方角で進めてよろしいか、意見をいただきたい。

会長：人が使うか使わないかは別にしてもそこには投資額がある。足りない分は市が補填すると言うが、それは我々の税金。観光に関する出資は公共的な枠を取り、市民の税金負担が無いのが本来で、それを生業としている駐車場経営者からすれば、公的機関がタダにするのは営業妨害になることを踏まえて欲しい。

事務局：温泉施設についての市の考え方は利用者全額負担が基本方針。今回ある程度のプランでの料金の見直しのために検討を進めていきたい。具体的なことは決まった時点で、事前に審議会にも諮りたいと思うが、了解願いたい。

～ 事務局説明資料の内容のとおり、進めていくことが了解された。～

商工観光部長総括

本日は計画に基づく指標の進捗状況並びに最近の取り組み状況を報告した。

観光は非常に足が速い産業で、ある部分行政が追いつかないこともある。審議の中で地域の皆さん、業界の皆さんの協力でより良い観光地をこれからも作りたいと感じた。

「神と仏とものふ」、確かにその通りで一体的にやることによって地域全体の魅力は、また大きく変わってくるかと思う。私どももそういった視点を常に見ながら、これからやっていきたいと考える。

更に料金改定については原油高騰などの社会情勢を踏まえつつ、地域の観光資源、地域の大切な施設という側面も残しながら、引き続き、意見を頂戴し、検討していきたい。

本日はありがとうございました。

事務局：第2回長野市観光振興審議会は今年度末、3月の予定。詳細はおって通知でお知らせしたい。

7 閉会